

2018年  
9月号  
NO.0073

カトリック笹丘教会  
教会 ニュース

福岡市中央区笹丘1-16-1  
☎761-4504 F761-4524  
広報委員会

福岡教区今年度の目標・・・「神のいつくしみをさらに生き、広めよう！」

神に対するあなたの印象とは？



マイケル・ヒルデン神父

自分の住んでいる国から出かけて、何も知らない別な国にしばらく滞在する経験があると、その国での新しい生活の体験が面白く感じる人が多いと思います。違う文化に触れる時に、色々な印象をうけます。日本で、私の最初の住まいは神奈川県鎌倉市にある日本研究センターというイエズス会の経営した日本語学校でした。日本の地理についての第一印象は美しい国だなという感動的な印象でした。小さい時から私が住んだ米国の町では、山も海も遠くて、滅多に見ることができません。鎌倉の日本語学校はある山の斜面に建てられていて、少し散歩すると海が見えるし、屋根に上ると、美しい富士山が遠くに見えます。何と美しい場所だろう。

しかし、自分の先入観のため、時々自分の第一印象は事実と離れて、間違っただけの印象となります。例えば、近所でペンキが塗れていない木の家を初めて見た時、貧しい人々の街という印象を受けました。なぜならば、米国では、木にペンキが塗れない家は、非常に経済的に苦しんでいる人の家だけなのです。鎌倉では、日本のエリートの方々が住む場所という印象を受けなくて、現実を正しく理解できませんでした。

神の国を見た人は、誰もいないので、天国についての間違っただけの先入観にくれぐれも注意したほうがいいではないでしょうか。神様について話す時に、最高の注意をしながら、正しい第一印象を受ける恵みを希うことは大切ではないでしょうか。祈りによって、神様に近づく人だけが神の本性に触れることが出来るではないでしょうか。

真の神を長年 探し求めた聖アウグスチヌスが、愛である神の神秘を祈りのちによく黙想して、「ヨハネの第一の手紙講解」10, 7に次の言葉を残し、神を知りたい方にこうお勧めしています。『互いに愛し合うことができる力を神に願い求めなさい。すべての人を愛しなさい。あなたがたの敵をも愛するのです。彼らがあなたがたの兄弟姉妹だから愛するのではなく、彼らがあなたがたの兄弟姉妹となるように愛するのです。あなたがたの心が愛によっていつも燃えているように、彼らを愛しなさい。すでにあなたがたの兄弟姉妹となった人たちに対してであれ、あなたがたの敵に対してであれ、同じように愛を注ぐのです。それは、彼らが大いに愛されることでああなたがたの兄弟姉妹となるためです』。

神を知りたいと望んでいるならば、イエス様の十字架の下で、すべての人を自分の兄弟姉妹にする神の愛の力を探し求めましょう。



神に対するあなたの印象とは？

## カトリック笹丘教会 拡大信者会 議事録 (抜粋)

日時 : 2018年9月2日(日) 11:40~12:30

約26名参加 信徒会館ホールにて

†主の祈り

### 議 題

#### 1. 聖アウグスチノ祭(8/25)の振り返り

- ・テントは利用されていた? →テントのあちこちで楽しんでいる様子だった。あってよかった。
- ・司教様が大変喜ばれていた。すいか割りまで参加して下さるとは思わなかった。
- ・司会進行を若手に依頼していたが、体調不良でできなかったのは少々残念だった。

#### 2. 敬老会について

日時:9月23日(日)10時ミサ後

※対象者 75歳以上 77名(1943年8月生まれまで)

#### 3. 平戸・生月巡礼について

日時:10月13日(土)7:00出発、18:10到着予定

定員 49名(参加者多数の場合は抽選)

参加費:2,000円(大学生以上。高校生以下は無料。昼食代込み)

行程と詳細は、別紙参照 申込期間 9月2日(日)~23日(日)

#### 4. その他

##### ①今田神父様への千羽鶴について

- ・未だ入院中。お見舞いは病院ではなく、修道院に帰ってこられてからにしてほしい。
- ・桑原神学生とご両親、川崎のご親戚からも折鶴が送られてきた。
- ・折り紙の大きさは、7.5センチ四方。自宅にあるもので作っても。

②西日本豪雨災害募金 報告 集まった65,000円を、広島教区に送金する予定。

##### ③9月9日(日)コーヒーコーナー時の「班会」について

- ・班構成がかなり変わっていて、班の人が誰なのかわからない。
- ・班長がいない班がある。→班会の時、班長がいない班には役員が入る。
- ・(班長を決めるには)班数が多過ぎるのでは? →以前は、電話連絡だけだったので細かく分けていた。
- ・計報が届かなかった。→連絡網を再確認する。連絡網を変更するかも。
- ・地図があるとわかりやすいのでは。
- ・1つの班に2,3人しか来ないかもしれないが、一応やってみる。
- ・班会を開催することを、メール、FAXで連絡を回して呼びかける。

†アベ・マリアの祈り

## FYCC 15 福岡ユースカトリックキャンプ



最高気温を記録したキャンプ地！ スタッフの心配りと  
参加の仲間たちの一体感がすべての困難を乗り越えました！



青年部 峯晶子

8月12日(日)から14日(火)まで二日市教会にて15回目のFYCC(福岡ユースカトリックキャンプ)が開催されました。

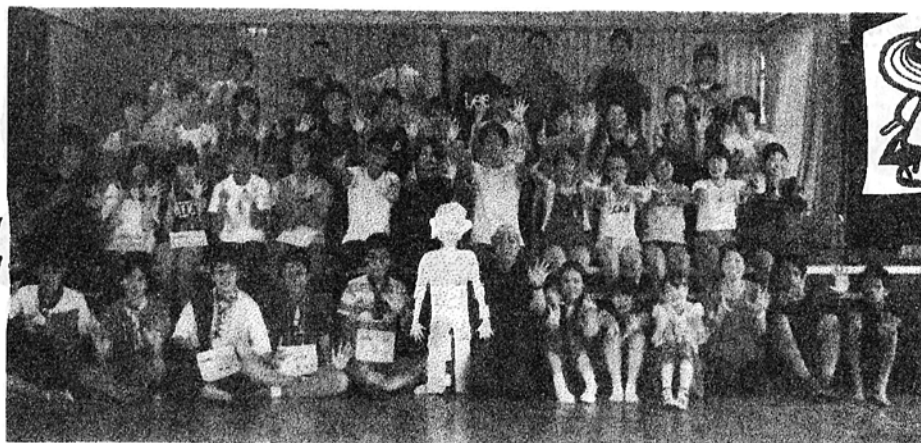
今回は「#なかま」をテーマに掲げ、普段の学校とは違う、教会での「なかま」を作り、改めて「なかまとはなにか」を考えてもらえるようなキャンプにしようと準備を進めてきました。

3日間のキャンプではレクリエーションで親睦を深め、分かち合いで自分なりに考え、お互いの話を聞き、発表では各班趣向を凝らした劇で盛り上がり、そしてテゼやミサのうちにいろんな「なかま」に出会えたことに感謝をささげました。

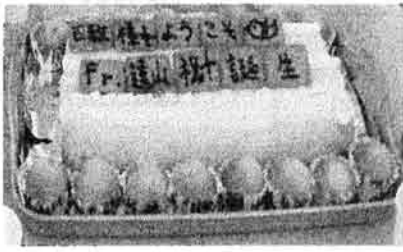
福岡地区内外から集まった20名の中高生たち。最初はぎこちなかった中高生たちも、班と一緒に生活する中で緊張が解けてくると、それまでの空気が嘘のように一気に笑いが増え、例年になく、今年のFYCCは青年スタッフ含めて笑顔に満ちていました。ある参加者の中高生からも、「去年より今年のほうが楽しかった」と言われ、FYCCをやってよかったと心から思いました。

特に印象深かったのは、最終日の夜に裏方を含めたキャンプ参加者全員が、1人ずつ、3日間で感じ取った「なかま」を自分なりの言葉で言い換えて発表したことです。私自身が久しぶりにFYCCに関わり、また今回初めての場所での開催ということ、準備段階では裏方スタッフがわずか3名という少人数でこなすことにも不安を感じている中、キャンプ本番で一緒に動いてくれた「なかま」の存在がひときわ大きく、頼もしく思え、そして自分の弱さにも気づけた3日間でした。

そんな経験を通して、私にとっては「なかま」とは「互いに信頼し、赦しあえる存在」になりました。弱い部分さえも赦し、互いに補い合える、それが私の感じた「なかま」です。また来年も、信頼しあえる仲間たちとキャンプがしたいです。



手作りケーキ



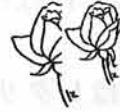
司教様ようこそ  
Fr.遠山祝誕生 のチョコレート文字

八月二十五日(土)  
聖アウグスチヌスの  
お祝いのミサは  
宮原良治司教様の司  
式にて行われました。

司教着座十周年  
おめでとうございます！  
ドミニコ宮原良治司教様

聖アウグスチノ祭

おめでとうございます！



ドミニコ宮原良治司教様



司教様も信徒たちと談笑



アメリカでの勉強を切り上げ  
城山教会へ 桑原篤神学生



赤坂のサンパウル主任  
安倍修道士



桑原神学生のご両親もご参加！



中学学生がお手本を！



外のテントも利用して和気あいあい。焼き肉  
など食べ物飲み物たくさんありました！



全員がステージに上がって  
歌うようになることを目指します！

笹丘ファミリー合唱団 うまい！！



宮原司教様スイカ割り参加！  
スイカから外れたけれど格好よかった！





# 信仰のルーツコーナー

\*7月号から引き続き故米田博一氏の連載です\*

我が父 米田博一の信仰の歩みを辿る 第三回

故米田博一



## 4 父との教会の思い出

米田博正

父は幼少より、第2バチカン公会議以前のクラシカルなカテキズムを体にしたきこまれたような人でしたので、いきおいミサに与る際にも厳肅な心持ちでのぞむように、家族に教えていました。例えば、ミサのことを「ミサ聖祭」とよび、主日のミサに与る一時間前から飲食禁止でした。ご聖体をいただくのに、お腹に別の食べ物が入っているはいけないという理由からでした。ミサ中に私語をしたり、手を合わせていなかったりすると、しばしば父から手を挙げられることもありました。また金曜日はイエス様のご受難の日なので、肉食や贅沢を控えることが、家族内での暗黙の了解事項でした。わたしが小学生の時には、夏休みの早朝、町内のラジオ体操ではなく平日の朝ミサに与ることが日課となっていました。

また黙示録や福音書の終末に関する話しを、よく家族にはしていました。

「世の終わりが近づいている」だから、ミサに与ってよく祈らなければいけない、要旨、このようなことをしばしば口にしていました。かつて父が幼少期に受けていた、懲罰的な神のイメージの公教要理が強く影響していたのだろうと思われれます。

今にして思えば、いささか「律法主義」的な感じも否めないのですが、父にとっては、第2バチカン公会議以前の「古き良き時代」の教会の姿に、自分自身の信仰に対する誇りとアイデンティティを見いだしていたのかな、と感じています。

日常の信仰生活については、父と、母も同様ですが、夕の祈りとロザリオをととても大切にしていたと思います。父はカトリック祈禱書の文語体の「夕の祈り」をそらんじていましたので、わたしが子どもの頃、一緒にお風呂に入るときは、湯船の中で10分くらいかけて、当時はあまり意味も分からず難しい「夕の祈り」を唱えていました。また、家族で旅行に行くときには、必ず車中で文語体の「ロザリオの祈り」を唱えていました。

このように思い返すと、カトリック教会や祈りに対する姿勢というものを、わたし自身が両親から身体感覚として、あたかも食事の作法を身につけるかのように学んでいったのだと感じています。【次回につづく】



## \* お知らせコーナー \*



今田神父様、福岡から祈っています！

2017年度まで笹丘教会協働司祭として、また笹丘カトリック幼稚園の園長としてお勤めになり、現在城山教会で司牧されている今田昌樹神父様は闘病中です。祈りを込めて鶴を折りましょう。千羽鶴として贈ります。



平戸巡礼へ行こう！10月13日（土）

貸切バスの定員49名です。9月23日（日）申し込み締切後、定員オーバーの場合は抽選となります。詳しくは申込用紙を御覧ください。



「手芸の会」再開

9月より毎週金曜日10時～17時までホールにてクリスマスバザーのための準備を始めます。手芸品を和気あいあいと作りましょう！



聖書分かち合い

第2、第4金曜日 10時30分から 第3会議室にて  
どなたでもご参加いただけます



\* 都合により中止になる場合がありますので参加される場合はご確認ください。



### 編集後記

大災害続きの日本列島。世界中いたるところで災害や人災が起きています。一方、戦争も災害も経験していない自分たちは奇跡的で、お金さえ払えば好きなことができる、これこそ天国ではないか？と思ったりします。永遠の命を授かってからの天国や地獄などが本当にあるのか？自分には、まだまだ疑問です。聖書の勉強会、神父様や信徒の方々から勧められた書物を読み、信仰を深めていき、なるほどわかったと実感したい。全ての事柄に対して神に感謝できるようになりますよう。(J.N)